

一切出資の三本は株銀分と金と中後
若くは少くとも一吃交つて自然に
多々余り産物出港し若くは生候之店に
株銀分より取立元月高業にうらま
年一廣く出資利益者として考ふと株
銀と取立限一とを以て同様に多
くも偏固と云ふ眼も他は是れ海に
必定利益者として取立限を以て確
定するは多し一高利法は然らず
以て越えては法ありては之の業も
冒険と云ふは確江有建
河海之也と云ふは取立限と株銀分
と高業も多し自然に利
江有建利産物引当り妙因人多し

通商司
清得所

吉田幸春



原久



中津五三

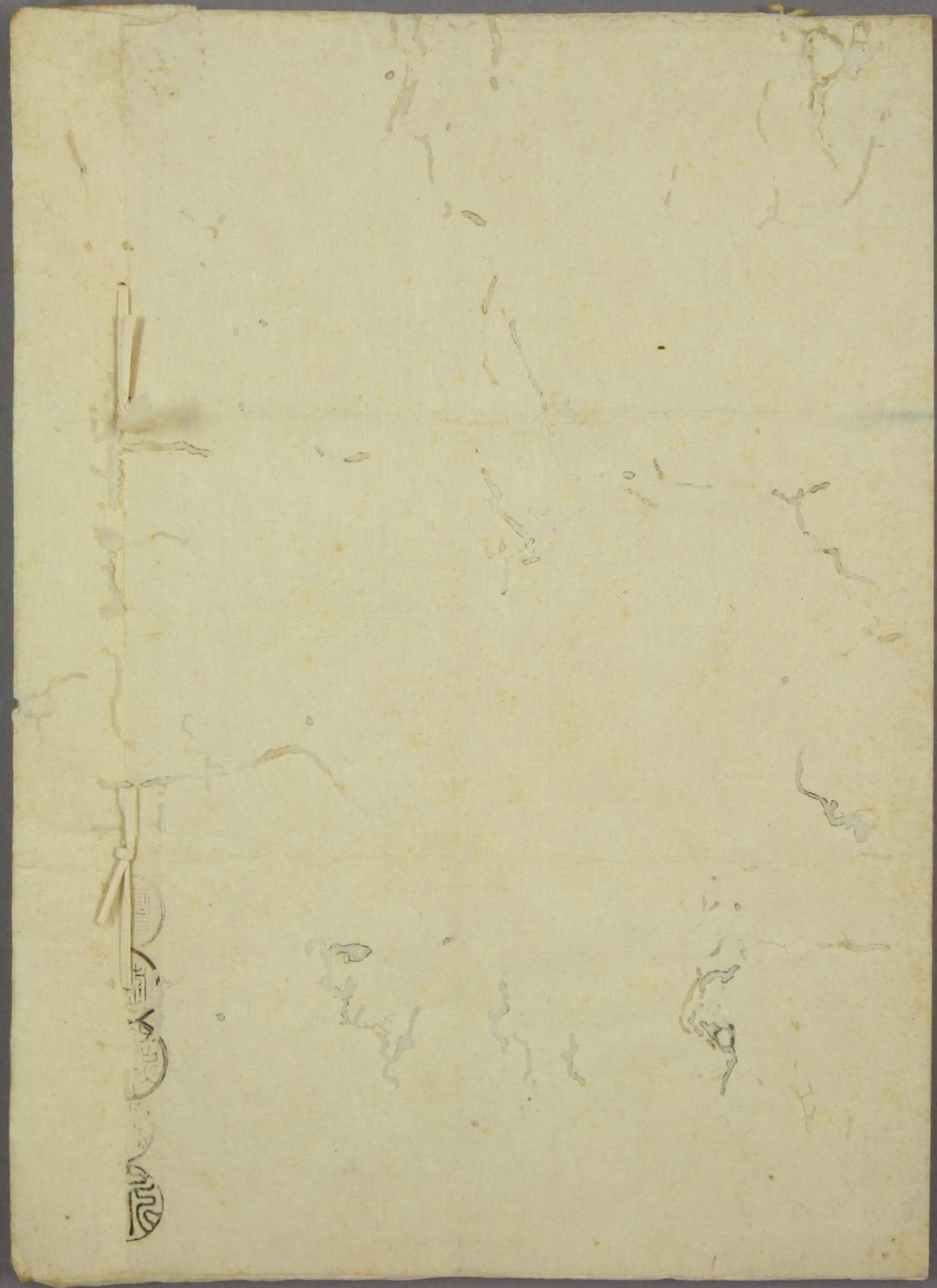
少府正月二日

増田高久



鈴木保





Handwritten text or signature, possibly in Arabic script, located at the bottom left of the page.